

(4) くだものづくり

りんごは、町を代表するくだものです。

りんごは、寒い地方でよく育つくだもので、冬の間しばらく低温が^{ていおん}続^{つづ}かなくてはよい実が育たないのです。

町では、1981（昭和56）年から^{なえぎ}苗木を育てはじめ、1986（昭和61）年に初めて^{しゅっか}出荷することができました。はじめてとり組んだり^{さいばい}りんご栽培は、分からないことばかりで、普及所^{ふきゅうじょ}の先生や農協の人、そのほかいろいろな人に教わり、^{しゅばい}失敗や工夫を重ねて、おいしいりんごを育てることができたのです。



おもなり^{しゅるい}りんごの種類

- ・つがる
- ・ジョナゴールド
- ・王林
- ・ふじ